

かわら版
令和7年1月

地域ケア推進会議

発行：燕市 長寿福祉課 地域支援相談チーム

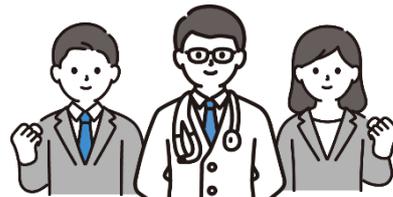


【第2回地域ケア推進会議を開催しました】

令和7年1月22日(水) 午後1:30~3:00 会場：燕市役所つばめホール

【議題と結果報告】

- (1) 各部会の報告
- (2) 地域課題の検討
- (3) 参加委員の意見
- (4) 今年度のまとめ



1 各部会の報告（令和6年度の取り組み内容）

総合事業部会

「多様な居場所の検討」として、今年度開始した商業施設を活用した居場所づくりの取り組みを部会で共有し、今後の取り組み方についてさらに検討した。また、「新たな福祉サービスの創出」として部会で意見出しをした。

在宅医療・介護連携推進部会

「私のきもち手帳」が完成し、8月から周知を開始した。県央地域の新しい医療体制がスタートし、医療と介護の連携が取れているか確認するため、現状と課題を出し合った。お互いの仕事の内容等を知ることが必要との意見から、病院の役割やスタッフの動きや現状について部会で共有した。

認知症支援部会

認知症当事者の意志を発信しやすくするための意見出しや、認知症という病気と認知症の人を正しく知ってもらうためにできることを検討した。今後は本人発信支援の場の創設や普及啓発の方法に向けた取り組みを実施していく。

2 地域課題の検討【身寄りがない方の支援について】

1. 今後の支援方針（案）について

身寄りがない人を「家族や親族がいない、または、いても事情により家族や親族からの支援が受けられない人」と定義。

前回の会議で課題ごとのアプローチがよいとの意見を参考に、居住、医療、施設入所、金銭管理の4つのワーキングチームを編成した。

ワーキングチームのメンバーは課題解決に向けた方策を検討するコアなメンバーと位置づけるが、検討内容や実際の支援に必要な関係者を必要に応じて召集し、有機的につながれる体制をとっていく。



2. 活動計画（案）について

| | |
|------|--|
| 居住 | ケアマネ向けアンケートを実施後、居住支援協議会及び市担当課との情報交換会を開催する。 |
| 医療 | 近隣病院を訪問し、現状や課題を把握する。 |
| 施設入所 | 令和7年度に2回の情報交換会を開催する。 1回目：施設としての現状や困りごとの確認 2回目：確認した課題に対する方策の検討や好事例の共有 |
| 金銭管理 | ケアマネへのアンケートを実施。 日常的な金銭管理を対象にした現状の把握を行う。 |

3 参加委員の意見



成年後見制度中核機関では、昨年度から市民後見人の養成を進めている。身寄りがないことで専門職が後見人になることが多いが、代わりに市民後見人が活躍できればと思う。国の持続可能な権利擁護支援モデル事業が進んでいるので、情報収集しながら取り組んでいきたい。

他市では一般社団法人で身寄りがない人の支援をしている。市民のために避けて通れないことなので、燕市でもスピード感を持ってやれるとよい。

押し付け合いにならない関係者同士の連携、責任体制をきちんと持った中でワーキングチームやPDCA サイクルを回していかなければならないと思う。



身寄りがない人の支援について、課題ごとにやるのが整理できていると思う。地域包括支援センターには実態把握訪問という業務があり、チラシを活用して啓発も行いながら、力を入れていかなければならないと思う。

4 今年度のまとめ（小原会長）

医療面でいえば医療同意や金銭問題等があるが、個人情報の問題もあるので土足で踏み入れることが難しい。時代背景が変わってしまった部分はあるので、アイデアみたいなのがあるかどうかは、今後考えていかなければならないと思う。

事案によって誰が窓口になり、誰がイニシアチブをとるのが問題だと思う。地域包括支援センターはすべての業務に関わっていると思うので、過重業務にならないような配慮も考えていかなければならない。

訪問のハードルが高い家庭は増えてきているので、地域包括支援センターは確実に安心ということを周知できるような方法も同時進行していけるとよい。



令和7年度
予定

【会議スケジュール】（後日改めてご案内いたします）

| | | |
|---------------|---------|-----|
| 地域ケア推進会議 | R7.7.31 | 年2回 |
| 総合事業部会 | R7.6.30 | 年3回 |
| 在宅医療・介護連携推進部会 | R7.6.27 | 年3回 |
| 認知症支援部会 | R7.6.19 | 年3回 |

